

公立大学法人青森公立大学
令和 7 年度 業務実績評価書（案）

令和 8 年 月

青森市地方独立行政法人評価委員会

目 次

I	評価の基本的な考え方等	1 頁
II	全体評価	
1	総評	3 頁
2	業務の実施状況	4 頁
3	組織、業務運営等に係る改善事項等	4 頁
III	項目別評価	
1	大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（教育）	5 頁
2	大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（研究）	6 頁
3	地域貢献に関する目標を達成するための措置	6 頁
4	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置	7 頁
5	経営・財務内容の改善に関する目標を達成するための措置	7 頁
6	自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置	8 頁
7	その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置	8 頁

I 評価の基本的な考え方等

青森市地方独立行政法人評価委員会は、地方独立行政法人法第78条の2の規定に基づき、公立大学法人青森公立大学（以下「法人」という。）の令和7年度における業務実績について評価を行った。

評価の実施に当たっては、当評価委員会が定めた「公立大学法人青森公立大学事業年度評価実施要領（令和4年3月24日改正）」に基づき、法人の年度計画に定めた事項ごとにその実績等を明らかにした業務実績報告書及び法人への聴取等に基づき調査・分析を行うとともに、その結果を踏まえて「項目別評価」及び「全体評価」を行った。

1 項目別評価

中期計画に掲げる次の事項（以下「大項目」という。）ごとに、中期計画の達成に向けた業務の進捗状況及び特記事項の内容を総合的に勘案して、5段階により評価する。なお、教育研究については、その特性に配慮し、専門的な観点からの評価は行わず、事業の外形的な進捗状況を評価する。

【大項目】

- ① 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（教育）
- ② 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（研究）
- ③ 地域貢献に関する目標を達成するための措置
- ④ 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置
- ⑤ 経営・財務内容の改善に関する目標を達成するための措置
- ⑥ 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置
- ⑦ その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置

【5段階評価】

- 5：中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある。
- 4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
- 3：中期計画の達成に向けておおむね順調な進捗状況にある。
- 2：中期計画の達成のためには進捗がやや遅れている。
- 1：中期計画の達成のためには進捗が著しく遅れており、重大な改善事項がある。

2 全体評価

項目別評価の結果を踏まえ、令和7年度における業務実績の全体について、記述式により市民にわかりやすい表現等に努めながら総合的な評価を行う。また、必要がある場合は、法人に対する業務運営の改善その他の勧告事項を記載する。

3 青森市地方独立行政法人評価委員会委員

区 分	氏 名	役 職 等
委 員 長	成田 昌造	青森中央学院大学 経営法学部 教授
委 員 (委員長職務代理者)	荒関 浩巳	公立大学法人青森県立保健大学 理事・事務局長
委 員	長内 琢己	株式会社青森みちのく銀行 取締役常務執行役員 青森地区営業本部長
委 員	今 孝彰	日本公認会計士協会東北会青森県会 会員
委 員	田中 正子	青森商工会議所 議員

Ⅱ 全体評価

1 総評

公立大学法人青森公立大学(以下、「大学」という。)は、教育・研究の一層の推進と活性化を図ることにより、市の発展のために必要とされる有為な人材を輩出し、大学が持つ知的財産を市民に還元することで、経営経済をはじめとする各分野において、市が掲げる施策の推進に貢献し、市民の生活及び文化の向上に寄与していくことを使命としている。

令和7年度の業務実績については、計画項目が多岐にわたる中、いずれの項目についても着実に取り組み、第3期中期計画の達成に向けて順調に進捗していると評価できる。特に、「教育研究等の質の向上」や「地域貢献」の分野では顕著な実績を上げている項目が複数見られ、全体的に計画を着実に遂行していることが評価できる。その上で、個別の項目についての主な評価は以下のとおりである。

大学の教育研究等の質の向上(教育)に関しては、学士課程の学生募集について、中期計画における一般選抜3倍程度の志願者確保の目標は達成されていないものの、前年度比で増加しており、県内からの志願者増加策の継続実施とともに、県外向けとして新たな学生募集方策に取り組んだことは評価できる。

また、開学時から行っている、学修アドバイザーの成績不振者に対する面談や学修成果を可視化して学生の自己理解の一助とする取組は、きめ細やかな支援体制として高く評価できる。

大学の教育研究等の質の向上(研究)に関しては、地域貢献の視点を重視した研究活動を推進するとともに、公開講座を通じて研究成果を地域へ還元し、数値的にも高い実績を上げていることは評価できる。

地域貢献に関しては、自治体や関係団体と連携し、研究活動と地域貢献を一体的に推進することで、地域の大学としての役割を十分に果たしていることは高く評価できる。

さらには、地域社会を学修のフィールドとした諸活動は、学生の資質・能力の向上に加え、地域への貢献にもつながる取組として高く評価でき、今後も一層の推進を期待する。

業務運営の改善及び効率化に関しては、情報発信・広報活動の強化に向けた基本方針等を整備したことは評価できる。今後は、取組の効果を検証・改善しながら、認知度やブランド力の向上につながる成果を期待する。

経営・財務内容の改善に関しては、物価高騰や人件費の増加など厳しい経営環境の中、事務処理の見直しや電気料金の見直しなどによる経費の適正化に取り組み、着実な成果を上げていることは評価できる。

県内就職率の向上は引き続き課題であり、地域社会とも連携しながら、公立大学法人として一層の取組を期待するとともに、今後も「選ばれる大学」として持続的に発展していくため、高い志を持って大学の特色や魅力を高める取組を充実・発展させていくことを期待する。

2 業務の実施状況

大学の教育研究等の質の向上（教育）に関して、学修成果を可視化した成績チャートを成績通知に同封し、学生が自身の学修状況を確認できるようにするとともに、学修アドバイザー面談等において活用している。また、学生に対し授業評価アンケートを実施し、学生から寄せられた意見に対する教員の回答を公開するとともに、各授業のアンケート結果を検証し、その結果の授業への反映・改善状況をシラバスに掲載している。また、志願者の獲得を図るため、公式LINEを活用した入試関連イベントの情報発信等を効果的に行うほか、新たに北関東地域の高校生を対象としたWeb-DMを実施するとともに、受験生等に向けた「入試サイト」の制作・公開を実施している。

大学の教育研究等の質の向上（研究）に関しては、成果の地域還元を図るため、ホームページや学術リポジトリへの掲載、論纂の刊行、公開講座での積極的な情報発信に取り組んでいる。

地域貢献に関しては、「青森まるっとよいどころ祭り」の開催や、青森市産官学連携プラットフォームにおける合同研修・研究発表を実施するなど、多様な地域連携活動に取り組んでいる。

業務運営の改善及び効率化に関しては、大学運営の参考とするため、審議会等の委員などから意見を聴取したほか、設立団体の長である青森市長と法人役員との意見交換を実施している。

経営・財務内容の改善に関しては、検定料収入や研究関連収入、その他の外部資金の積極的な獲得活動に努めている。また、内部統制規程に基づく各種監査を実施するとともに、教職員の規範意識の向上を図るため、学内研修の実施や学外研修への参加を促進している。

自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関しては、一般財団法人大学教育質保証・評価センターが実施する大学機関別認証評価を受審し、同センターが定める大学評価基準を満たしているとの認定を受けている。

その他業務運営に関しては、インフラ長寿命化計画に基づく施設・設備の効果的な修繕等により、良好な学修・研究環境の整備に取り組んでいる。また、国際芸術センター青森や中心市街地において創作体験等の教育プログラムを実施するとともに、市民を対象とした展覧会やワークショップなどを開催し、来場者の増加に取り組んでいる。

3 組織、業務運営等に係る改善事項等

県内就職率の向上は課題であり、この課題解決に向け、地域社会と連携しながら、市が設立する公立大学法人としてより一層の取組を期待する。

Ⅲ 項目別評価

1	大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（教育）	評価	4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
ディプロマ・ポリシーを学生に意識させるため、到達目標と各科目との関連性をシラバスで明示し、教学マネジメントの強化を図り、教育効果の向上につなげたことは高く評価できる。 また、学修成果の可視化や成績不振者へのきめ細かな学修支援、授業評価アンケートを活用した授業改善、ディプロマ・ポリシーを起点とした教学マネジメントの強化など、教育効果の向上と学生の育成に継続的かつ積極的に取り組んでいることは高く評価できる。 学士課程の学生募集については、中期計画における志願者確保の目標達成には至っていないものの、県内志願者の確保に向けた継続的な取組に加え、県外向けの新たな募集方策を実施するとともに、SNSを活用した広報活動や受験生向け「入試サイト」の制作・公開など、効果的な情報発信に取り組んだことは評価できる。 博士課程の学生募集については、志願者確保に向けた着実な取組は認められるものの、入学定員に満たない状況が続いていることから、引き続き志願者確保に取り組むとともに、大学院の将来的な在り方についても検討していく必要がある。 就職支援については、ミーティングボックスの活用をはじめとするキャリアセンター機能の充実や、県内就職の促進に向けた各種取組を積極的に実施し、高い就職率の維持につなげていることは評価できる。また、実際の勤務地ベースでの県内就職率は一定の成果が認められるものの、さらなる向上に向けた取組を一層推進することを期待する。 「教育に責任をもつ」という理念のもと、多岐にわたる計画項目について着実に取り組み、十分な実績を上げていることは高く評価できる。今後は、教育成果や学生の成長を可視化するとともに、学生が自ら成長を実感できる教育環境の充実を図り、「選ばれる大学」としてのさらなる発展につながる取組を期待する。			

2	大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（研究）	評価	4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
公開講座については、計画を上回る回数を実施するとともに、受講者数も前年度を大きく上回るなど、研究成果の地域への還元を積極的に推進し、地域住民からの大学への期待の高まりにつながっていることは高く評価できる。今後は、地域住民の教養を高めるテーマに加え、地域課題の解決に資するテーマでの開催についても期待する。 地域課題の解決に向けた研究を自治体や関係団体と連携して推進するとともに、新たな行政からの事業受託につなげるなど、地域の大学としての役割を適切に果たしていることは高く評価できる。今後も、地域のための研究の一層の充実に向け、積極的な取組を期待する。 また、地域連携活動や自治体等との連携を積極的に推進し、公立大学としての使命を果たすとともに、いずれの項目においても着実に取り組み、十分な実績を上げており、総合的に見て順調に進捗していると評価する。			

3	地域貢献に関する目標を達成するための措置	評価	4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
県内自治体や青森市産学官連絡会議との連携、県内自治体との新たな連携協定に向けた検討など、多様な地域連携活動を積極的に展開するとともに、青森市学生ビジネスアイデアコンテストへの学生の積極的な参加により成果を上げるなど、地域貢献の取組を着実に推進していることは評価できる。 これらの活動は、学生自身の学修成果の活用に資するだけでなく、地域とともにある大学としての位置づけを強固なものとし、大学の魅力向上、ひいては「選ばれる大学」に繋がっていくものと評価できる。 地域住民を対象とした公開講座については、計画を上回る実施と受講者数の増加は高く評価できる。今後は、地域社会が抱える課題の解決に資する専門的な知見を提供する公開講座の充実を期待する。 各項目において着実に取り組み、十分な実績を上げており、総合的に順調な進捗状況にあると評価できる。また、大学運営が着実に成果を上げていることがうかがわれることから、今後も取組内容の一層の充実を期待する。			

4	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置	評価	4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
次期学務情報システムの導入に向けた着実な取組や、電力会社の見直しによる電気料金の経費節減の見通しを立てるなど、業務の効率化・合理化に取り組み、大学運営の改善に成果を上げていることは評価できる。 情報発信・広報活動の強化に向け、基本方針等を新たに策定することとしたことは評価できる。今後は、PDCA サイクルによる継続的な改善を通じて、大学の認知度及びブランド力の向上につながる成果を期待する。 教員数の確保や公募による教員採用を着実に進めていることは評価できる。今後も、優秀な教員を確保し、高い教育水準を維持・向上させるため、教員の「職としての魅力」の維持・向上に向けた環境づくりを継続して進めることを期待する。 人事評価制度の運用及び昇給・昇格への反映を開始したことは評価できる。今後は、教職員のモチベーション向上につながるよう、制度が適正に実施されているか継続的に検証することを期待する。 各項目において着実に取り組み、十分な実績を上げており、総合的に順調な進捗状況にあると評価できる。			

5	経営・財務内容の改善に関する目標を達成するための措置	評価	4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
高校生向け「入試サイト」の開設による志願者確保に向けた情報発信や、科学研究費補助金等の申請件数の増加、施設利用の促進などにより、収入増加につながっていることは高く評価できる。 物価高騰や人件費の増加など厳しい経営環境の中、事務処理の見直しや電力会社の見直しによる電気料金の経費節減に取り組むなど、経費の適正化に向けた取組を着実に進めていることは評価できる。 持続的な大学運営のためには、安定した財務基盤の確立が不可欠であることから、収支改善に向けた自助努力による不断の取組を継続していくことを期待する。 各項目において着実に取り組み、十分な実績を上げており、法人全体で真摯かつ積極的に取り組んだ成果が認められることから、総合的に順調な進捗状況にあると評価できる。			

6	自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置	評価	4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
大学機関別認証評価において大学評価基準を満たしているとの認定を受けるとともに、自己点検・評価の仕組みを適切に運用し、評価結果を教育・大学運営の改善につなげていることは評価できる。今後も、認証評価における優れた点をさらに伸ばすとともに、改善を要する事項については着実に対応していくことを期待する。 各項目において着実に取り組み、十分な実績を上げていることから、総合的に順調な進捗状況にあると評価できる。			

7	その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置	評価	4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
国際芸術センター青森や中心市街地において、子どもから市民まで幅広い層を対象とした教育プログラムや展覧会、ワークショップ等を積極的に実施し、多くの市民の参加を得るなど、地域との交流や地域貢献の推進に大きく寄与していることは高く評価できる。今後も、地域との関わりを一層深める取組の充実・拡大を期待する。 教育研究用施設・設備について、計画的な整備・更新を着実に進めるとともに、大学施設・設備の外部貸出しを積極的に行い、自己収入の確保や地域への活用につなげていることは評価できる。 各項目において着実に取り組み、十分な実績を上げていることから、総合的に順調な進捗状況にあると評価できる。			